

世界にひろがるAMDAのネットワーク

AMDA インドネシア・スマトラ島 南西部地震緊急医療支援活動

9月12日 18:10 (日本時間20:10)、インドネシア・スマトラ島西部沖でマグニチュード8.4の地震が発生しました。その後、マグニチュード7.8、7.1の余震が断続的に起き、インドネシア政府が津波警報の発令、解除を繰り返すなど緊張が続きました。

AMDAは、AMDAインドネシア支部からの要請を受け、多数の被災者、避難者に対する緊急医療支援を実施するため、日本の本部から調整員を1人、インドネシア支部から医師2人を派遣しました。

16日関西空港を出発、ジャカルタで合流し、17日から被災地の西スマトラ州で、調査及び医療支援を行いました。同州パダン市の南、特に被害の大きかったペシシル・セラタン県の2つの保健センターに医薬品を寄贈しました。テント生活によるストレスから、頭痛や胃腸症状が多かったとのことでした。

インドネシア政府の迅速で的確な行動により、病院及び保健センターでは、ほぼ通常の診療が行われるようになってきているという、AMDA緊急医療支援チームからの報告によって、22日、被災地での緊急医療支援活動を終了することを決定しました。

1. AMDA緊急医療支援チーム

<日本からの派遣者>

9月16日～24日

館野 和之 調整員 AMD本部職員 岡山市在住

AMDAでの主な緊急救援活動：

2006年5・6月ジャワ島中部地震緊急救援活動／2006年7月 ジャワ島津波緊急医療支援活動／2006年12月 フィリピン台風21号緊急医療支援活動

<AMDAインドネシア支部からの派遣者>

9月17日～23日

医師2人

*他に、医師2人がマカッサル（インドネシア・スラウェシ島。同支部所在地、南スラウェシ州都）にて待機

2. 災害状況

12日 18:10 (日本時間20:10)、インドネシア・スマトラ島西部沖でマグニチュード8.4の地震が発生した。被害は、死者25人、負傷者161人、被災家屋52,522軒、損壊病院6軒、損壊保健センター53軒に上っている (国連人道問題調整事務所 (OCHA) 9/21発表Situation Report No.6)。



ARI (急性呼吸器感染症) の子どもを 被災した家屋
診療



西スマトラ州災害対策本部を訪問し、
被害状況を調査